

沛郡周郁妻者、同郡趙孝之女也。字阿。少習儀訓、閑於婦道。而郁驕淫輕躁、多行無禮。郁父偉謂阿曰、「新婦賢者女、當以道匡夫。郁之不改、新婦過也。」阿拜而受命、退謂左右曰、「我無焚衛二姬之行。故君以責我。我言而不用、君必謂我不奉教令、則罪在我矣。若言而見用、是為子違父而從婦、則罪在彼矣。生如此、亦何聊哉。」乃自殺。莫不傷之。

注釈

義訓：正しい教え。 驕淫輕躁：心が驕っていて言動が軽はずみであること。

焚衛二姬：焚姫と衛姫。どちらも優れた能力で夫の行いを改めさせた人物。

問1：①「少」と同じ意味の「少」を含んだ熟語を以下から一つ選びましょう。

- A：「幼少」 B：「僅少」 C：「多少」 D：「希少」

問2：②の書き下し・現代語訳を行いまししょう。

書き下し

現代語訳

問3…③の「君」が指す人物を以下から選びましょう。

- A…阿 B…趙孝 C…周郁 D…偉

問4…④の「言」は誰に何を言うことなのか答えましょう。

問5…⑤の説明として最も正しい選択肢を選びましょう。

- A…阿が偉の指示を達成するため、夫が協力してくれるという状況。
B…阿が偉の指示に従おうとしても、阿にはその実力が無くて達成できない状況。
C…阿が偉の指示に従っても、周郁の振る舞いが治ることがない状況。
D…阿が偉の指示に従っても従わなくとも、問題が出てきてしまう状況。

2

問6…⑥について、「之」が何か明らかにした上で現代語訳して下さい。